



第59回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、池上勝義さんにご紹介いただいたこの方は、「何事にも研究熱心で、常においしいを考えているスゴイ人」とのこと。インタビュアーは大村信夫でお届けします。

【今回のスゴイ人】

たか森カフェ

堀内 加奈子さん



今回は、財部町のご出身で、たか森カフェの堀内加奈子さんにお話を伺ってきました。

小さい頃から、お手伝いの一環としてご飯を作ることが多かったそう。「美味しい」と家族の喜ぶ顔が見たくて、人のために料理を作ることが自分の夢に。高校卒業後は調理学校へ。その後、宮崎県内の保育園で調理師として勤務しました。

「毎日ほとんど同じ調理の繰り返しなのに、全く苦にならないんですよね」と堀内さん。しんどかった経験なんて、思い付かないほど充実した日々を過ごしました。

そんな中、大怪我をしてしまい長期療養をしなければならぬ状況に。この期間を利用しパソコンのスキル向上をしようと、職業訓練を探していました。

ある日、母校である財部北中学校が職業訓練施設「たから森の学校」となっていることを知りました。「母校でこんな面白いことをやっているんだ」と興味が湧き、職員として働くことに。

日々の仕事をしている中で「面白い取り組みをしているのに学校に来るのは訓練生だけ。もっと地域の方々も気軽に立ち寄れる場所になって欲しい。それならカフェだ！」と思ったんです。昔の職員室を改装し「たか森カフェ」が生まれました。

「訓練生が育てた旬の野菜を、調理するのがこの魅力なんです」月に一度ランチメニューがリニューアルされるため、「今」収穫された野菜に合わせたメニューを考えています。

「コロナウイルス感染症の影響で、飲食店に対するお客様の考え方も変わってきているんです」とキッチンカーでの移動販売も開始。テイクアウトで手軽に食べられるメニューに力を入れました。また「たか森カフェ」の味を家でも味わってもらいたいとの思いから、新たな加工品の開発を始めています。どんな状況でも「美味しい」を追求される堀内さんに、背中を優しく押されたような感覚になりました。

実は隣のスゴイ人



▶インタビューを終えて

色んなカフェに足を運び、常に「美味しい」を求めている堀内さん。気さくな笑顔の裏側には、太く大きな芯がありました。ジビエ料理もすごく美味しそう。また買いにお伺いしますね。



たか森カフェ

曾於市財部町北俣 5410 番地 1
☎ 0986-28-6120



協力隊の今日この頃

曾於市で過ごす秋や冬も3度目になりました。最近はおおす。初めての通訳。しかも日本グッドFM出演のお声がけをいただいた、自分の英語学習の経歴について色々とお話をしました。大学卒業時は中学生レベルの英語。その後、学習を積み重ねて英語がある程度できる様になって、見えてきた世界の変化。放送時間が足りませんでした。(笑)また曾於市のお茶のアドバイザーの一環として、末吉製茶さんと橋口製茶さんをオーストラリアに紹介したいと思っています。(大村)

アの方々に紹介をする予定で、初めての通訳。しかも日本サイドの司会もさせていただけることに。京都のお茶屋で働いていた時から、日本茶の魅力を海外に広めたいと思っています。不安はめっちゃめっちゃありますが、お声掛けいただいている皆さんのおかげで、楽しい日々を送っています。感謝の気持ちを持って、微力ながら曾於市に恩返ししていきたいと思っています。(大村)



Instagramで
英語を発信中!



ONLINE_ENG_SOOCITY

